

小学校 高 学年＜ 5 ・ 6 － （ 5 ） ＞

学 年	5年 6年	時 間	体育と学級活動 「水泳・着衣水泳」と「津波の脅威」	時 期	8月末～9月上旬 (水泳最後の学習)	時 数	2時間(各1時間) (90分)
目 標	流れる水や津波の速さ・強さについて知り、急な増水・急流や津波に関する正しい知識を深め、津波から逃げるができるようにする。						
資 料・ 準 備	水着、服、靴下、靴、タオル、着衣水泳指導プログラム(参考資料)、 気象庁作成の津波防災啓発DVD「津波からにげる」、映像関係機器、ワークシート						

展開

＜第1時＞ プールとプールサイド

- 1 水着に着替えて、水着の上に着る服・靴下・靴（着衣水泳用に持参したもの）を着用し、タオルを持ってプールサイドに集合する。
- 2 準備体操後シャワーを浴びる（5分）
- 3 着衣水泳（25分）を実施する。
- 4 服着用で、水の流りに沿ったり逆らったりして、歩いたり泳いだりした時の感想を話し合う。（5分）
- 5 シャワーを浴びてから着替えて、教室等へ移動する。（10分+休憩時間5分）

＜第2時＞ 教室等（◇発問等 ○支援）

- 1 気象庁作成の津波防災啓発DVD「津波からにげる」の（資料映像）から、「3津波実験の映像」や「6東日本大震災の記録映像」「7東日本大震災後の記録映像」を視聴し、津波の速さ・強さについて知る。
(20分)

○資料映像の中から上記の3、6、7を視聴させる。（15分）＜児童の視聴状況に要配慮＞

◇映像を見て、気がついたことを発表しましょう。（5分）

- 津波の中を歩くことはできないことをおさえる。
- 50cm(子どもは20cm)でも歩くことは困難であることをみんなで確認する。
- 津波の進む速さについて知らせる。（津波の速さは水深に比例する。）

水深5,000m	→	時速800km(ジェット機なみ)
水深500m	→	時速250km(新幹線なみ)
水深100m	→	時速110km(高速道路を猛スピードで走る自動車なみ)
水深10m	→	時速36km(オリンピックの短距離選手なみ)

- 2 気象庁作成の津波防災啓発DVD「津波からにげる」(解説編)を視聴して気がついたことを発表する。
(20分程度)

◇釜石市の子どもたちの津波から逃げた映像を見て、気がついたことをワークシートに書きましょう。

○DVD「津波からにげる」(解説編)の1アニメ、2津波からにげた人たち、3クイズ津波を知ろうを視聴(13分)させ、気がついたことをワークシート等にかかせる。

- 3 着衣水泳と映像から、津波の脅威についてまとめる。（5分）
◇着衣水泳をしたり映像を見たりした感想を発表しましょう。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	(学校行事) 避難訓練 (算数) 「速さ」
協 力 団 体	東・中・西部各広域消防局、各地域担当消防署、鳥取地方気象台